

## 令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんじゃばんしんふおにつくういんず 一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ	団体ウェブサイトURL	<a href="https://sienawind.com/">https://sienawind.com/</a>
代表者職・氏名	代表理事 東 佳樹		
制作団体所在地	〒 162-0022 東京都新宿区新宿1-24-7ルネ御苑プラザ420	最寄り駅(バス停)	新宿御苑前
電話番号	03-3357-4870		
ふりがな 公演団体名	しえなういんどおーけすとら シエナ・ウインド・オーケストラ	団体ウェブサイトURL	<a href="https://sienawind.com/">https://sienawind.com/</a>
代表者職・氏名	事務局長 高澤芳郎		
公演団体所在地	〒 160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7ルネ御苑プラザ420	最寄り駅(バス停)	新宿御苑前
制作団体 設立年月	2004年11月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:東佳樹 理事:黒岩真美、貝沼拓実 監事:熊代祐子	代表理事1名、理事2名、楽団員31名、事務局員4名。楽団員は実技オーディションにより審査し、合格者は規定の試用期間を経て入団を決定する。	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	高澤芳郎
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	永井朋恵

<p>制作団体沿革</p>	<p>平成2年に、オーディションを経て集まった優秀な若手音楽家たちによってシエナ・ウインド・オーケストラを結成。平成16年に有限責任中間法人ジャパン・シンフォニック・ウインズとして法人登記。平成21年に公益法人制度改革により会社法人格を一般社団法人に変更。 平成22年文京区および公益財団法人文京アカデミー、平成23年学校法人尚美学園、平成28年国立大学法人上越教育大学および上越文化会館、平成29年学校法人同朋学園名古屋音楽大学、平成30年静岡県富士市および公益財団法人富士市文化振興財団とそれぞれ事業協定を締結、現在、文京シビックホールをフランチャイズとしシエナ・ウインド・オーケストラを運営。各協定団体と連携し、地域に密着した活動やエデュケーションな取り組みを展開している。</p>				
<p>学校等における公演実績</p>	<p>【令和3年度】 国分寺高等学校、狭山ヶ丘高等学校、横浜英和中学・高等学校、文京区立本郷台中学校、北区立梅木小学校、文京区立茗台中学校にて実施 【令和4年度】 足利市立小学校(22校)、足利市立中学校(10校)、文京区立第三中学校、文京区立音羽中学校、台東区立黒門小学校にて実施</p>				
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成19年度 北海道遠軽市内音楽鑑賞教室にて普通学級と合同で実施 平成26年度 大阪府立豊中支援学校にて音楽鑑賞教室を実施 令和4年度 栃木県立足利中央特別支援学校(足利市立の小中学校と併せて実施)</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://drive.google.com/drive/folders/1fSAICj3ifzFtFOfM8fBnMJjfyVvIxGn?usp=sh">https://drive.google.com/drive/folders/1fSAICj3ifzFtFOfM8fBnMJjfyVvIxGn?usp=sh</a></p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	<b>シエナ・ウインド・オーケストラ</b> 小編成でも大迫力！楽しい吹奏楽！		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>○歌劇「ワイルダム・テル」序曲より“スイス軍の行進” ○ずいずいずっころばし変奏曲(楽器紹介) ○クラシック・ギャロップ・メドレー トランペット吹きの休日～シコス・ポスト～道化師のギャロップ～トレパック ○スタジオ・ジブリ・セレクション ハトと少年～ナウシカ・レクイエム～風の丘～もののけ姫～ねこバス～いつも何度でも～フジモトのテーマ～崖の上のポニョ</p> <p>【休憩15分】 《指揮者体験》ハンガリー舞曲第5番 《共演①》ロック・トラップ(ボディパーカッションによる共演) 《共演②》ティコ・ティコ(ラテンのリズム「スリー・ツー」による共演) ○ラテン・メドレー パパはマンボがお好き～イパネマの娘～マシュ・ケ・ナダ～エル・クンバンチェロ</p> <p>【アンコール】以下2曲から選べます 星条旗よ永遠なれ もしくは 宝島</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当あり	該当コンテンツ名 ジブリ・メドレー
	該当事項がある 場合	権利者名 (株)ワンダーシティ	許諾確認状況 採択後手続き予定
演目概要	吹奏楽は一般的な弦楽器主体のオーケストラとは違い、編成が確立されていない。この小編成(16名)の吹奏楽はそれを逆手に取り、小編成においても吹奏楽の魅力を存分に楽しんでいただくという目的で制作した。前半では普段大編成でも取り上げる楽曲を、この編成に最適なアレンジを施し、子どもたちがよく耳にする楽曲を中心に選曲した。後半は子どもたちといっしょに楽しむコーナーを多く配し、長時間でも飽きない内容になっている。		
演目選択理由	別添あり		
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	本公演では指揮者体験コーナーと共演コーナーを設けています。 指揮者体験ではブラームスのハンガリー舞曲第5番を教材として、2名から3名の児童・生徒に体験してもらいます。 共演はボディパーカッションのための楽曲「ロック・トラップ」でコールアンドレスポンスによるパフォーマンスをいっしょに楽しみます。 さらにラテンの基本的リズム「スリー・ツー」を学び、ラテン音楽の定番「ティコ・ティコ」を共演します。		
出演者	指揮: 井村誠貴もしくは福本信太郎 司会: 山下まみ、もしくは戸塚理絵 吹奏楽: シエナ・スピリッツ(以下メンバー表) Fl: 窪田恵美、Ob: 金子佳代、B♭Cl: 佐藤拓馬、飯島泉、BassCl: 京谷麻里子 Fg: 鹿野智子、Sax: 栄村正吾、 Hr: 林育宏、山下裕也、Tp: 砂川隆丈、熊代祐子、Tb: 長谷川貴大、Eup: 庄司恵子、Tuba: 山岸明彦 Per: 荻原松美、東佳樹		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 18 名 スタッフ: 5 名 合 計: 23 名	運搬	積載量: 0.6 t 車 長: 3.24 m 台 数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8:50	9:00-11:00		13:30-15:00	10~15	15:00-16:30	17時00分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	16日	0日	0日	5日	16日		
	11月	12月	1月	計	51日		
	0日	0日	14日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安	指揮者体験3名、ボディパーカッション全員		
				鑑賞人数目安	1~600名程度まで		



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名程度まで
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>木管楽器奏者1名、金管楽器奏者1名、打楽器奏者1名、ピアニスト1名、司会者1名、スタッフ1名の計6名</p> <p>①楽団紹介 どこから来たか、どんな活動をしているかを紹介</p> <p>②メンバー紹介 一人ずつ役割を紹介、特にスタッフが何をしているかなどわかりやすく説明</p> <p>③実演鑑賞(木管楽器) ピアノ伴奏による実演(楽器の音色が伝わる曲)</p> <p>④レクチャー(木管楽器) 楽器は未定だが、木管楽器の特徴や音の出る仕組みを解説</p> <p>⑤実演鑑賞(木管楽器) ピアノ伴奏による実演(プロ奏者のテクニックをアピールする曲)</p> <p>⑥実演鑑賞(金管楽器) ピアノ伴奏による実演(楽器の音色が伝わる曲)</p> <p>⑦レクチャー(金管楽器) 楽器は未定だが、金管楽器の特徴や音の出る仕組みを解説</p> <p>⑧実演鑑賞(金管楽器) ピアノ伴奏による実演(プロ奏者のテクニックをアピールする曲)</p> <p>⑨レクチャー(打楽器) 小物打楽器を用い、打楽器の音当てクイズを軸にした説明</p> <p>⑩実演鑑賞(打楽器) ピアノ伴奏による打楽器の実演</p> <p>⑪指揮者の役割と指揮のレクチャー 拍子の説明と指揮を全員で練習</p> <p>⑫ボディパーカッション指導 本公演で共演するボディパーカッションを打楽器奏者が指導</p> <p>⑬スリー・ツールのレクチャー 共演曲ティコティコを用い、ラテンの基本リズム「スリー・ツー」の指導と練習</p>		
ワークショップの ねらい	<p>木管楽器、金管楽器、打楽器の音色や楽器の仕組みなどを実演を交えて学ぶことで、本公演のオーケストラによる演奏をより深く理解し、演奏を楽しむことにつながる。</p> <p>また、指揮者の役割や指揮の仕方を学び、本公演での指揮者体験をスムーズに行えるようにする。</p> <p>さらに共演の指導を通して、参加することの喜びや、自分も楽器をやりたいくなる興味や好奇心が芽生えれば、将来の音楽ファン拡充につながり、生涯学習の礎になればと考える。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>各学校が所有するピアノを借用したい。これに伴い、可能であれば事前に調律をしていただけると、演奏のクオリティが上がり、よりよいワークショップの実施につながる。</p>		

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

シエナ・ウインド・オーケストラ

】

i) 離島・へき地等における公演実績  
2012年度 種子島高校音楽教室

ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

**【特殊な事情がある地域で実施する上での工夫】**

・フル編成のオーケストラによる学校公演の開催は様々な制約に悩まされがちである。離島やへき地においてはなおさらである。当団では2011年から16名で編成されるユニットを立ち上げ、様々なニーズに応じてきた。大型の打楽器の使用を極力抑えることにより、ワゴン車もしくはミニバン1台で運搬が可能になった。また、演奏スペースが格段に狭まることにより、体育館だけでなく、多目的ルームや音楽室などでも実施可能になった。

**【質を保つための工夫】**

・当初より、この編成用に編曲を施し、各楽器の特性が十分に引き出せるようにしている。これにより、フル編成に負けず劣らず、迫力のあるサウンドを聴衆に届けることができる。また、10年以上の実績により、この編成での熟練度が年々増している。

iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫  
オーケストラの経費は人件費の割合が大きいため、小編成にすることで演奏料が約60%軽減できる。大型打楽器を迫力を損なわない範囲で効果的に減らしているため、楽器運搬費が大幅に削減できる。

C区分で事業を  
実施するに当たっての工  
夫

リンク先	No.2	【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ 】
演目選択理由	<p>誰もが一度は耳にしたことがあるロッシーニ作曲の歌劇「ウィリアム・テル」序曲からスイス軍の行進でスタートします。勇ましいファンファーレからの軽快なマーチは子どもたちの心をつかむのに打って付けです。</p> <p>2曲目は楽器紹介です。古くから伝わる童歌「ずいずいずっころばし」はコミカルなメロディラインが印象的です。このメロディを変奏曲に仕立て、各楽器の特徴を子どもたちにもわかりやすくアレンジしました。各楽器の紹介をナレーションとして補足しながら演奏を進めるので、低学年から中学生まで楽しく学ぶことができます。</p> <p>楽器の紹介のあとは軽快なクラシック・ギャロップ・メドレーを聴きます。別名「運動会メドレー」とも言えるこの曲は「トランペット吹きの休日」からスタートし、リストがハンガリー狂詩曲の中に取り込んだ「クシコス・ポスト」、シロフオンの妙技が光るカバレフスキーの組曲「道化師」よりギャロップと続き、チャイコフスキーのバレエ音楽「くるみ割り人形」よりトレパックで最後を飾ります。運動会では校庭で流れていたクラシックの名曲が、生演奏で体育館を颯爽と走り抜けるでしょう。</p> <p>前半最後は映画音楽です。一世を風靡したスタジオ・ジブリが制作した数々のアニメ作品から8曲をチョイスしたスタジオ・ジブリ・セレクションをお届けします。天空の城ラピュタから「ハトと少年」、風の谷のナウシカより「ナウシカ・レクイエム」、魔女の宅急便より「風の丘」、映画タイトルと同名の「もののけ姫」、となりのトトロより「ねこバス」、千と千尋の神隠しの主題歌「いつも何度でも」、崖の上のポニョから「フジモトのテーマ」と主題歌「崖の上のポニョ」と綴ります。世代を超えた印象的なメロディを生演奏で聴くことにより、子どもたちの心に深く刻まれるでしょう。</p> <p>休憩を挟み、後半では体験や共演を中心に、いっしょに楽しむプログラミングにしました。まずは指揮者体験です。ブラームス作曲のハンガリー舞曲第5番を使い、児童・生徒の代表2～3名が指揮者を体験します。この曲はテンポが頻繁に変わるため、指揮のテクニックがある程度必要になります。単純なマーチなどを題材にすると、指揮の難しさが伝わらないことがあるので、あえてこれを選曲しました。体験の前には全員で指揮の練習をした上で、当方の指揮者によるお手本を示したあと、児童・生徒が挑戦します。</p>	
	<p>オーケストラとの共演は二通り用意しました。最初はボディアパーカッションのための楽曲「ロック・トラップ」の中で、ボディアパによるコールアンドレスポンスで共演します。打楽器奏者が示す2小節のパフォーマンスと同じことを返しながら繰り返していきます。回数を重ねるたびに難易度が上がっていくので、楽しさと同時に達成感も味わえると思います。</p> <p>次はラテンの基本リズム「スリー・ツー」をハンドクラップ(手拍子)で共演します。共演する曲はラテンナンバーの定番「ティコ・ティコ」です。乗りがよく軽快で初めてでもリズムが取りやすいこの曲は、共演に最適と思い選曲しました。最初は曲を楽しみ、後半ではスリー・ツーのリズムで共演します。</p> <p>コンサートの最後を飾るのは共演での盛り上がった流れを受け、ラテン・メドレーで締めくくります。最近自動車のCMでも使用された「パパはマンボがお好き」から始まり、リオ・デ・ジャネイロのイパネマ海岸をイメージした「イパネマの娘」、数多のアーティストがカバーしたボサノバの名曲「マシュ・ケ・ナダ」、最近では野球の応援で頻繁に使われるようになった「エル・クンバンチェロ」で締めくくります。日本ではラテンミュージックはちょっと大人びた感じに捉えられますが、子どもたちがこれから成長していく上で今回触れたラテンの楽曲に再び巡り会った時に、我々の演奏を思い出してもらえることを願い選曲しました。</p> <p>アンコールとして用意したのはマーチ王ともいわれるスーザが作曲した星条旗よ永遠なれ、もしくは全国の吹奏楽部で人気ナンバーワンといえる、和泉宏隆作曲、Tスクエアのヒットナンバー、宝島を用意しました。どちらの曲も手拍子で参加可能なので、最後の盛り上がりには最適な2曲です。また、どちらの曲も吹奏楽部や金管バンドと共演が可能です。</p>	